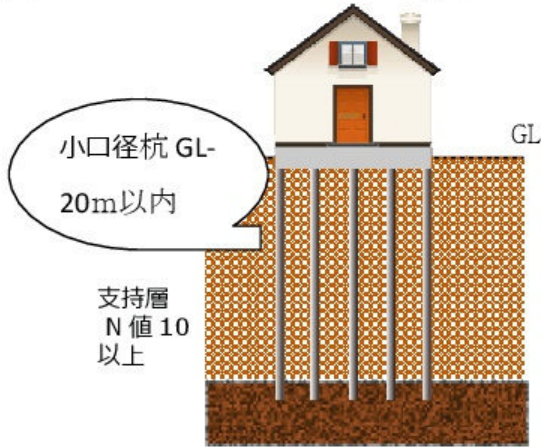


小口径鋼管杭工法(杭状地盤補強)



支持層厚 2.0m以上

不安定な地盤で建築物を長期に亘って支持する地耐力はないが、GL-20m以内に支持層(N値 10以上)となる地盤層厚が 2.0m 以上確認できる場合に行われる小口径鋼管杭工法です。また、液状化の危険性が高い地層には最も有効な工法と考えられます。JIS 規格の鋼管(101.6φ~165.3φ)を回転圧入機を用い計器管理の基、支持地盤に回転圧入して、支持させます。施工に伴う振動の心配はありません。錆対策も実験データを基に錆代を肉厚を 1.0mm考慮した設計をしております。

1. 回転圧入機



2. 鋼管杭

杭先端 閉端構造



3. 杭頭キャップ

杭頭専用加工(厚 6.0 mm)



4. 施工状況

建物位置に合わせ、ずれないようにセット



5. 計測管理

試験打設により管理トルク値を設定し、全本数計測管理



6. 打込完了

打込み後、杭頭キャップをして完了

